



在エルサルバドル日本大使館ホームページをご覧の皆様、

10月23日に、駐エルサルバドル日本国大使として着任いたしました有吉 勝秀(ありよし かつひで)でございます。

日本とエルサルバドルの両国が外交関係を樹立してから85年という記念すべき年に、日本国大使としてエルサルバドルに駐在できることを大変光栄に思っております。

私はこれまで8つの日本大使館・総領事館に勤務し、7か国に駐在し、中南米には3回(アルゼンチン2回とエクアドル、計9年)在勤しましたが、なぜか、エルサルバドルを含む中米には、在勤も出張の経験もありませんでした。そのため、今回のエルサルバドルでの勤務を非常に楽しみにして当地に来ましたが、サンサルバドルに到着後は、豊かな自然に恵まれた素晴らしいこの国に魅了されています。

日本とエルサルバドルは、国土が狭い、人口密度が高い、地震が多い、人々が勤勉で誠実である、といった様々な類似点があると言われており、1935年の外交関係樹立から今日にいたるまで、大変友好的な関係が築き上げられてきています。この両国の良好な関係を基礎とし、今後、二国間の関係が更に発展しますよう、駐エルサルバドル大使として取り組んでいく所存です。

また、当地在留邦人の皆様や当地に短期で滞在される日本人の皆様が安心してエルサルバドルでの日々をお過ごしいただけますよう、今後とも安全情報や領事情報の発信や、行政サービスの提供を行って参ります。

本年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行で、エルサルバドルの在留邦人の皆様も不安な日々を過ごされてきたことと存じます。エルサルバドルでも、新型コロナウイルスの根絶には未だ至っておりませんが、他方で、9月中旬には、国際線の商業フライトが再開され、人の移動も活発化してきています。日常に戻りつつあると同時に、引き続き油断できない日々が続くと思われませんが、皆様が健康や衛生に留意され、新型コロナウイルスに罹患されないことを謹んでお祈り申し上げます。

2020年11月
駐エルサルバドル大使
有吉 勝秀